

新技術・新工法概要表(様式2)

新技術の名称	油圧ショベル用チルトローテータ			本概要書作成日	令和7年12月20日
副題等	従来不可能だった方向への作業を可能にする機能をもった「油圧ショベル用アタッチメント」			開発年度	平成30年
				更新年度	
区分	1. 工法 2. 材料 3. 機械 4. 製品 5. その他	工種分類 (2工種まで記入可)	工種番号	工種分類	備考
			26	その他土木工事	
開発会社(機関名)	Steelwrist Japan 株式会社 (Steelwrist Japan K.K.)				
問合せ先	会社名	西尾レントオール株式会社	担当部署	西中国営業部	
	住所	岡山県岡山市南区新保 687-31			
	担当者氏名	清水 健一	T E L	086-250-2408	
	F A X	086-250-2405	関連する U R L	http://www.nishio-rent.co.jp/	
問合せ先	会社名	Steelwrist Japan 株式会社	担当部署	日本統括部	
	住所	東京都港区六本木 1-10-3-901			
	担当者氏名	松本 真	T E L	080-8717-0376	
	F A X		関連する U R L	https://steelwrist.com/ja/	
開発の趣旨・目的	<p>「人手不足と高齢化への対応」</p> <p>建設業界では、熟練労働者の不足と高齢化が深刻な問題となっています。チルトローテータの導入により、現場作業の省人化・省力化が可能になり、これらの課題の解決が期待されています。</p> <p>「工期短縮とコスト削減」</p> <p>ワンタッチで作業ツールの交換が可能なアタッチメントカプラ機能も装備され、作業時間短縮に寄与します。工期の大幅な短縮が可能です。また、追加重機を減らし、運搬コストを削減することで、全体の建設コストの削減にもつながります。</p>				
技術の概要	チルトローテータは、360度回転し、両方向に45度傾斜できる為、より多くの作業をより迅速に、行うことが可能。				
適用範囲(条件)	<p>「適用範囲」</p> <p>①適用可能な範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油圧ショベルを使用する工事全般に適用可能。 <p>②特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な掘削面など油圧ショベルの頻繁な移動が必要とされる施工範囲。 ・大型重機が施工するスペースが、限られ、油圧ショベルの移動に制限がある現場。 <p>③適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油圧ショベルを使用しない工事には適用不可。 ・水中における施工には適用不可。 				

適用範囲 (条件)	<p>「適用条件」</p> <p>①自然条件 ・特になし（油圧ショベルの動作保証条件に準じる。）</p> <p>②現場条件 ・特になし（油圧ショベルの動作保証条件に準じる。）</p>			
特徴 (優位性・ 注意点等)	<p>(1) 油圧ショベルを掘削方向に正対する位置に移動させることなく狭隘箇所の掘削が可能となるため、油圧ショベルの稼働時間の低減を図ることができる。生産性の向上。</p> <p>(2) 油圧ショベルの稼働時間の低減により燃料消費量の低減が可能となるため、CO2 排出量の削減を図ることができる。環境対策へつながる。</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケット以外のアタッチメント（グレーディングビーム、グラブプル、リッパ、コンパクターなど）を活用することにより、油圧ショベルの操縦のみでアタッチメントの交換が可能となるため、時間短縮、施工対象の、工種拡大の多様性が期待できる。 ・従来施工体系と異なり、狭隘エリアでの施工が可能となるため、コストダウンが期待できる ・油圧ショベルを移動させることなく、作業できる範囲が広がるため、油圧ショベルの移動が不可能なエリアにもかかわらず、従来通りの、作業が可能となる。 ・クイックカプラ機能で施工にマッチしたアタッチメント（ワークツール）に短時間にて交換することが出来る。 			
説明図 構造図				
特許	1. 取得済() 2. 公開中() 3. 出願中 4. 出願予定 5. 無			
実用新案	1. 登録済() 2. 出願中() 3. 出願予定 4. 無			
キーワード	選択	①農業生産性向上 ②高付加価値農業 ③生活環境 ④自然環境 ⑤景観保全 ⑥生態系保全 ⑦国土保全 ⑧コスト縮減 ⑨施設管理 ⑩施工作業効率 ⑪施工精度 ⑫長寿命化 ⑬機能診断 ⑭予防保全 ⑮補修工法 ⑯災害復旧 ⑰安全性向上 ⑱その他		
キーワード	⑱その他			
発表文献				
農業農村整備事業における施工実績(最新10件まで)				
事業名	事業主体（農政局、都道府県名等）	施工年度	工事名	備考
農業農村整備事業以外の施工実績(最新10件まで)				
発注者	施工年度	工事名		

※概要表（様式2）に記載している内容の取扱いについては、下記の方針によるものといたします。

- 概要表の内容は、各申請に基づく情報であり、中国四国農政局においては技術の評価、認定は行っており、参考情報として公表しています。
- 概要表に関する質問等については、上記の新技术・新工法の間合せ先会社の担当者へ連絡をお願いします。

